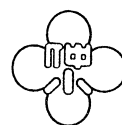


平成 29 年度
NO. 13
2 月 28 日 発行
3 月号

仲町だより



なか よく
ま なぼう
ち からいっばい
練馬区立仲町小学校

夢に向かって

校長 矢島 直行

今年の冬は寒い日が続きましたが、校庭の梅のつぼみも大きく膨らみ、今にも花を咲かせようとしています。また、日差しが暖かくなるとともに日が長くなりました。身近なところで春の訪れを感じることができます。

さて、2月は4年に一度のオリンピック大会に日本中が沸きました。金4、銀5、銅4。これは平昌オリンピック大会で日本が獲得したメダルの数です。今までの冬季オリンピック大会で一番メダルを獲得しました。メダルを獲得した選手の活躍はもちろんこと、一生懸命に頑張った選手の姿が私たちに感動を与えてくれました。4年間の努力の積み重ねが発揮されるオリンピック大会です。プレッシャーもあったと思います。前回の悔しい思いを糧にして、見事メダルを獲得した選手がいます。また、8回連続出場した選手もいます。そのような選手たちが私たちに、「強い意志をもち、決して最後まで諦めることなく、努力をすれば『夢』はかなう」ことを教えてくれました。これからパラリンピック大会が引き続き行われますが、選手の皆さんの活躍を応援したいです。

学校では、1月の後半から卒業式まで6年生を中心とする行事が続きます。送別スポーツ大会、6年生を送る会、感謝の会等があります。6年生の今までの取り組みを5年生が引き継いだり、これまでの活動に対して感謝したりするとともに、6年生にとっては小学校生活最後の思い出づくりでもあります。

今年も卒業を迎える6年生と会食を行っています。会食とは、校長室で6年生6～8名で給食を一緒に食べます。その中で、「小学校生活で楽しかった思い出は何ですか」と質問をすると、「移動教室」「運動会」「マーチングバンド」という答えが返ってきます。楽しそうに返事をする子供たちの様子から、子供たち一人一人が、充実した学校生活を送ることができたことが分かります。また、「中学校では何の部活に入りますか」「将来の夢は」についての質問では、まだ考えている子供たちがいますが、自分の目標、夢をしっかりと持っている6年生もいます。子供たちには、「夢は意志をもつことによりかなうことができる」と話しています。卒業する6年生には、本校で学んだことを生かしながら、自分の夢に向かって努力を積み重ね挑戦してもらいたいと願っています。何かを成し遂げるためには、絶えず自分で考え、努力と実現させようとする強い意志が大切です。

本年度も残り1か月となりました。「もう、あと1か月しかない」ではなく、「まだ、1か月ある」と考えると落ち着いて取り組むことができます。焦ることはありません。しかし、時間は確実に進んでいきます。計画的に取り組むことにより、時間を有効に活用することができます。卒業する6年生だけではなく、1年生から5年生のみなさんにも残りの1か月となる3月を、計画的に新年度に向けての準備に取り組んでいけるようにしたいです。